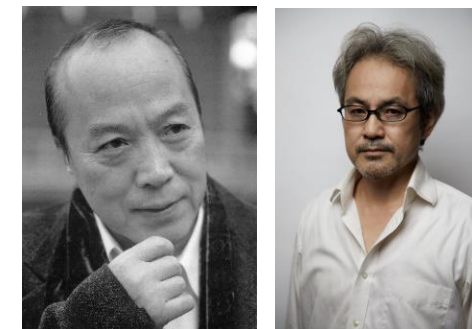


事業名	岡山河畔芸術祭 2023 劇団唐組・紅テント岡山京橋河川敷公演 『透明人間』
特色	1975年にアートファームの前身・風尽舎が、唐十郎と状況劇場を岡山烏城公園に招聘してから半世紀、以来10年ごとに開催を続けてきた劇団唐組の岡山公演が、昨年の好評に続いて初めての連続開催となる。 今年も、京橋朝市実行委員会と西中島町内会との共催事業として、岡山市街地を流れる旭川の河畔・京橋河川敷を会場に紅テントを設営し上演する。作品は、唐十郎の2000年代初頭の代表作『透明人間』。舞台にほとばしる水しびぎと天幕を揺さぶる肉体言語の嵐に、乞うご期待！！
物語	「水を恐がりますので、水を遠くにやって下さい」 町内に狂犬がいるという噂は、こう書かれた小旗を手に、犬に付き添う一人の男から広まった。保健所員・田口はその噂を調査していくうちに、その男・合田と犬の時次郎が棲む焼き鳥屋にたどりつく。しかし、元軍用犬調教師・合田が時さんの保護を拒む中、ついに人を咬んでしまったのは、時さんではなく、合田のかつての同僚の息子・辻という男のほうであった。 犬を愛し、「モモ」と名付けた犬と「水中花の誓い」を交わした亡き父親の意志を継ぎ、辻は焼き鳥屋で働く「モモ」という名の女を世話し始める。父の形見の革ジャンを着て……。何も語らないモモに辻は何を想い、モモに似た女に何を語らせるのか。そして田口だけが聞くモモの声は、田口にどう響くのか。 舞台は煙立つ焼き鳥屋。薄紅色の水中花に宿る記憶が、時を越えて、その沈む水と共に流れ出す――。
陣容	作：唐十郎 演出：久保井研+唐十郎 出演：久保井研、稲荷卓央、藤井由紀、福原由加里、加藤野奈、大鶴美仁音、重村大介、栗田千亜希、他
日時	2023年4月22日(土)・23日(日) 開演 19:00 開場 18:30 (両日共通) ※受付開始 14:00 会場受付にて入場整理券(前売券と引き換え)及び当日券を発行します。
会場	岡山市旭川河畔・京橋河川敷 (岡山市北区京橋町地先) ※JR岡山駅から路面電車東山線「西大寺町」電停下車 東へ徒歩3分
料金	前売 4,000円 当日 4,200円 学生(受付にて学生証を確認)3,300円 小学生以下(劇団で販売)2,000円 ※学生券と子供券は劇団でのみ販売 ※各日指定/全席自由 未就学児のご入場はご遠慮下さい。
前売取扱	プレイガイド：ぎんざや TEL=086-222-3244 岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL=086-234-2010 オンライン：アートファーム HP 岡山河畔芸術祭 http://www.artfarm.or.jp
問合せ	NPO法人アートファーム TEL=086-233-5175 FAX=086-294-3764 E-mail= info@artfarm.or.jp



唐十郎

久保井研

[劇団唐組]

演劇界に革新を起こした唐十郎により旗揚げされた劇団。前身である状況劇場時代から「紅テント」を引っ提げて、唐十郎の劇世界を追求し、世に問い続けている。劇団員はテント建てから始まり、役者と裏方の区別なく、舞台にまつわる全てを手掛ける。年に2回、春と秋に一大興行を行う。公演場所は、状況劇場時代から半世紀50年を経て興行を行い続け、代名詞とも言える新宿花園神社をはじめ都内各地、また大阪をはじめ各都市での紅テント公演も精力的に行っている。

